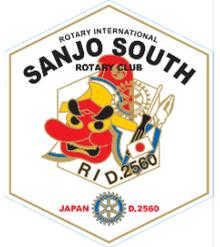




# 三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



2021-22 クラブテーマ **継続こそ前進。**

2021. 10. 18

「米山月間」

No.2394 No.10



## 会長挨拶

三条南ロータリークラブ  
会長

平松 修之

こんにちは。今日は三条ロータリークラブから石倉政雄様と米山奨学生の李 恒 (リ・ヒン) さんにお越しいただきました。どうぞゆっくりお過ごし下さい。今月は米山月間ということで、後ほど卓話の方もよろしく願い申し上げます。

すい分と気候も秋らしくなってきました。先週からは肌寒いと言っても良いくらいの気温になり、寒暖の差が大きいので、体調には十分注意して頂きたいと思えます。

秋と言えば紅葉ですが、現在は苗場のあたりで色づき始めたようです。これから本格的な紅葉シーズンとなりますが、世界中から絶賛されるように、「日本の紅葉が世界一美しい」と言われるその秘密を少しお話します。

美しい紅葉が見られるのは沢山ある樹木の中でも落葉広葉樹だけです。その多くが存在しているのは、日本を含む東アジアやヨーロッパの一部、北アメリカの東部に限られています。紅葉が見られること自体が貴重なことなんだそうです。その中でも日本の紅葉が美しいと言われるのは、葉っぱの色彩が鮮やかだからだそうです。欧米での紅葉は単色が多いようで、それに比べて日本は、赤や黄、オレンジ色があり、常緑樹などの緑色も混ざって、多彩で美しい紅葉を見ることが出来ます。落ち葉でさえも絵になるのはこのせいだそうです。

また、この色の秘密は落葉広葉樹の種類にもあります。欧米では約13種類あるそうですが、日本ではなんと倍の26種類もあり、種類の多さに加え、その年の気候や葉の水分量によっても葉の色は変わるんだそうです。

同じ木でも、その年によって違う色合いになり、毎年同じ色合いにならないことも魅力になっているのかもしれない。では何故、日本にはこんなに落葉樹が多いのでしょうか。それは、遠い昔の水河期に日本列島では広葉樹が生き延びたからなんだそうです。

他の国では氷河にやられて死滅してしまったのがほとんどですが、日本では暖かい海岸線や、その地形に守られて、多種多様な落葉広葉樹が生き残ることができたんだそうです。今、私たちが美しい紅葉を見ることができるのは、この奇跡のような歴史があったからこそなんです。

「日本にしかない」奇跡のような理由が重なった為に、「世界一美しい」と言われている日本でしか見られない沢山の種類の紅葉。いろんな形で楽しみながら、大切に残していきたいものであります。

以上で本日の挨拶にしたいと思います。

◆本日の出席：44名中24名◆通算出席率：78.32%

◆ゲスト：李恒さん（米山奨学生、長岡技術科学大学博士課程）、石倉政雄君（三条RC、奨学生カウンセラー）

◆先週のメイクアップ：◇10/11（月）親睦・プログラム委員会会議（例会場にて）平松修之君、木村譲君、吉沢栄一君、永桶俊一君、加藤一芳君◇10/11（月）歴代会長会議及び指名委員会（松木屋にて）大溪秀夫君、坂井範夫君、佐々木常行君、星野健司君、野崎正明君、田代徳太郎君、荒澤威彦君、平松修之君、松崎孝史君、木村譲君

◆幹事報告 木村 譲 幹事

◇RI2560地区事務所より

【高尾年度ロータリー防減災セミナー】の御案内

8月の予定が中止になったもの。改めて開催します

日時：2021年11月13日（土）13：30～16：00

会場：長岡市立中央図書館講堂

出席対象者：RCネットワークセンタークラブ連絡員

◇国際ロータリー・辰野克彦理事（東京西RC）より

【日本経済新聞一面広告】のお知らせ

日本のロータリー100周年を昨年迎えた事を契機に、ロータリーの活動をPRし、会員増強に繋げることを目的に、広告を掲載します

期日：2021年10月22日（金）

掲載紙：日本経済新聞（全国版）朝刊



奉仕しよう みんなの  
人生を豊かにするために

国際ロータリー会長 シェカール メータ (インド)  
第2560地区ガバナー 高尾 茂典 (新潟中央)  
第4分区分ガバナー補佐 外山 晴一 (三条北)  
会長 平松 修之  
幹事 木村 譲  
SAA 永井 篤利

事務局

〒955-8666 三条市野町2-5-10

三条信用金庫本店内

TEL0256-35-3477

FAX0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL https://www.sanjo-minami.jp

## ニコニコボックス

10/18 12,000円 今年度累計 93,000円

石倉君(三条RC)「今日は米山奨学生李さんと2名で参加させていただきます」

平松会長「今日は米山月間で三条RCから石倉様、李恒様に来ていただきました。後ほど卓話を宜しく願います」

木村幹事「今日はお忙しいところ、石倉様、李恒様、ありがとうございます」

銅冶君「李恒様、三条ロータリークラブ石倉政雄様、三条南クラブへようこそ」

石山君「今日は三条RC石倉様、ありがとうございます。米山記念奨学生の李様、今日は宜しく願い致します」

西潟君「プロ野球、セ・パ・リーグとも優勝争いが熾烈になってまいりました。今ひとつ熾烈な争いがセ・リーグ第3位と第4位です。最後まで見守ろうと思います」

坂井君「急に寒くなりました。体には気をつけて下さい」

田代君「昨日、紅葉を見に苗場に行ってきました。紅葉はまだまだでしたが、ロープウェイの頂上の降り場はみぞれで寒かったです」

松崎君「9月に個人事業所から法人事業所になりました。『アトラス税理士法人』といいます。宜しく願い致します」

塩入君「BOXにご協力ありがとうございました」



三国時代では、魏国の首都一洛陽になります。曹操は中原地域を本拠地として、どんどん領土を広げます。最後には魏国が中国を統一しました。

現代では、鄭州は中国の交通の心臓と呼ばれています。鄭州から、中国の各方向ともつながっています。なので、鄭州は非常に重要なところです。現在、中国ナンバー1の情報系軍事大学が鄭州にあります。地図上では、存在していません。

こんな大事なところですが、河南省は慢性的に水不足に悩まされています。1ヶ月に2、3回しか雨が降りません。年間平均600mmに満たないぐらいの降水量しかないのです。それは、三条市の約3ヶ月分の降水量に相当します。

しかし今年7月19日に大雨が降りました。100年ぶりの水害です。その日は1時間で、河南省の1年間の降水量の3分の1の雨が降りました。街中が水没しました。

ご存知の通り、中国だけではなく、世界中の環境問題は日々悪くなっています。一番重大な原因は二酸化炭素の排出による地球温暖化です。なので、日本に来てからは、環境問題を改善するため、水素に関する研究を始めました。水素は利用時には二酸化炭素を発生しないので、次世代のクリーンなエネルギーとして期待されています。我々は新潟で大量廃棄された籾殻を使用し、簡単な燃焼処理で、水素を吸着できる材料になりました。未来には、これらの材料を、水素自動車、飛行機などに応用できるようにする為に、引き続き頑張りたいと思います。

将来は、研究だけではなく、自分の目標と合わせて、人間生活の改善と社会問題解決の仕事を希望したいと思います。

最後になりますが、米山記念奨学金に携わる皆さまに重ねて、お礼申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。

## 「米山月間」卓話



米山奨学生 (中国)

リ ヒン  
李 恒 さん

(長岡技術科学大学博士課程)

皆様、こんにちは。長岡技術科学大学博士3年生の李恒(リ・ヒン)と申します。本日お招きいただき心より感謝申し上げます。まずは自己紹介をさせていただきます。

1993年12月に中国の河南省鄭州市に生まれました。

2012年に地元の鄭州大学に入学して3年間勉強しました。その後、長岡技術科学大学の入学試験に合格して、2015年8月に長岡に来ました。米山記念奨学会、例会に参加することで、日本への理解を深めて、両国の平和と交流には強い責任感が生じました。

これまでに、カウンセラーの石倉さんと三条クラブの皆様から、いろいろ日本のことを聞きました。今回は私の地元の鄭州を紹介したいと思います。

鄭州は中国の真ん中に位置し、中華文化の発祥地で有る黄河中下流域にある平原なので中原と呼ばれます。

温暖な気候と平坦な地形のため、たくさんの米が生産され中国の穀倉とも呼ばれます。この地域を治める事が如何に重要か分かります。

## 11月の例会予定

11月 1日 (月) 休会

11月 8日 (月) 夜例会 於：ジオワールドVIP

11月 15日 (月) 職場例会 於：(株)諏訪田製作所

11月 22日 (月) 休会

11月 22日 (月) 通常例会「ロータリー財団月間」